

本薬師寺の調査

—第133-3次

1 はじめに

橿原市城殿町における住宅建設にともなう事前調査である。調査地は本薬師寺金堂跡より北方に約105mをへだて、平城京薬師寺の伽藍配置を参照すると、食堂後方の十字廊および東北僧房の小子房の位置に該当する(図90)。調査区はおよそ南北3m×東西10m、面積32㎡で、調査期間は2004年6月17日～7月1日である。

2 検出遺構

調査区の基本層序は、上から表土、暗茶褐色土(近世包含層)、灰褐色砂質土(中世包含層)、黄褐色土、橙褐色土、灰黄色粘土、暗灰色微砂(湧水層)である。黄褐色土・橙褐色土はいずれも古代の整地土層と想定される。灰黄色粘土と暗灰色微砂は自然流路の堆積層である。

黄褐色土上面では十字廊および小子房の想定位置に古代の遺構を検出できなかったが、中世の東西溝2条を確認した。古代の遺構面は削平されたと考えられる。

調査区北端で検出した東西溝SD440は、幅2.3～2.5

m、深さ80cmでV字形に深く掘り込み、大きく上下2層に分かれる。方位は西で北に若干振れる。下層には木屑を多く含み、瓦、瓦器椀、土師器皿、土釜、青磁、白磁、漆器が出土した。下層溝を埋め立てて整地した後、その上層に再び溝を掘削している。上層は、幅1.5～1.8m、深さ30cmでやや規模を縮小する。

東西溝SD441はSD440の約80cm南方に位置し、幅70cm以上、深さ40cm以上。瓦、瓦器椀、土師器皿が出土。SD440と重複しないので先後関係は不明だが、出土遺物の年代観からほぼ同時期と考えられる。

3 出土遺物

瓦類 古代の瓦は軒丸瓦4点、軒平瓦8点と道具瓦34点があり、丸瓦299点(34.89kg)、平瓦1162点(138.93kg)が出土した(表13)。軒丸瓦6276Aaと軒平瓦6641Hは本薬師寺の創建瓦である。丸・平瓦も多くは創建期のものだが、奈良時代の一枚作り平瓦も少量ある。

土器類 古代の土器はいずれも僅少かつ小片である。土師器杯・高杯・甕、回転台土師器、須恵器杯身・杯蓋・台付長頸壺・平瓶・甕がある。

中世の土器の多くはSD440から出土した。土師器皿と

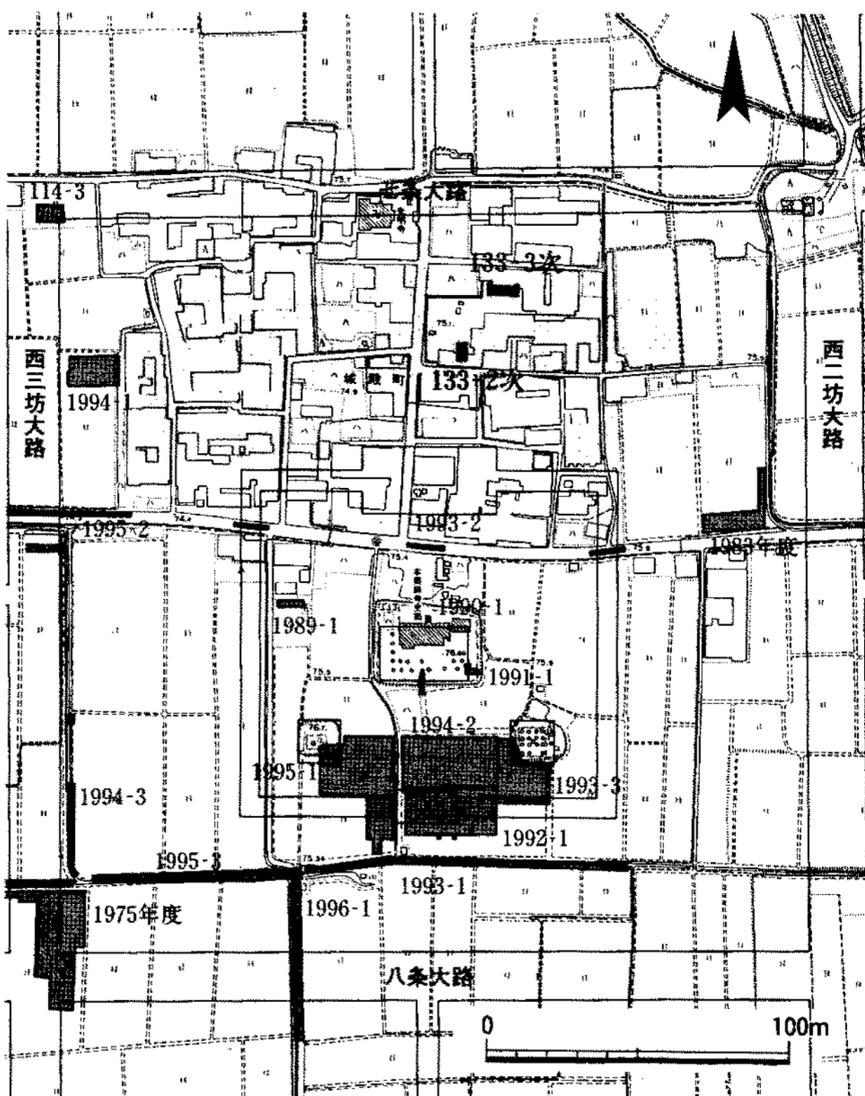


図90 第133-3次調査位置図 1:3500

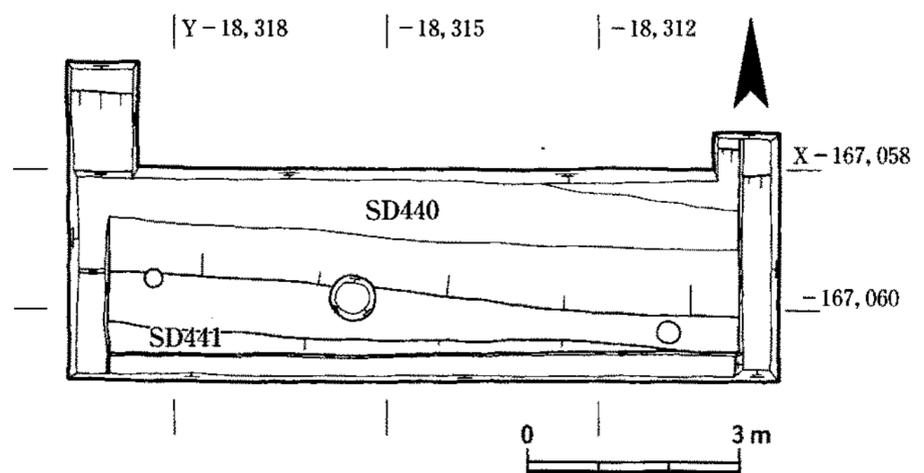


図91 第133-3次調査遺構図 1:150

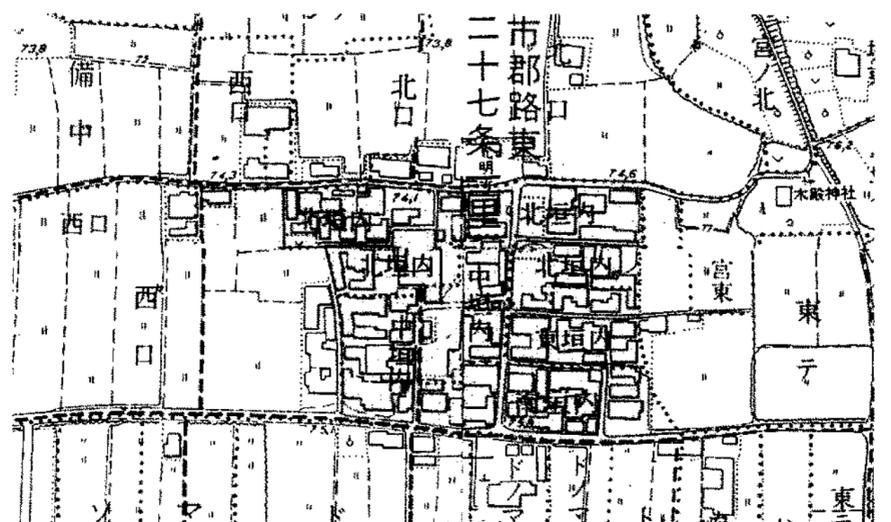


図92 第133-3次調査区周辺地籍図

土釜がその大多数を占め、ほかに瓦器椀、青磁・白磁片がある。瓦器椀は、ミガキがやや粗く断面三角形の高台を備える形態が多く、高台を喪失し体部が半球形を呈するものも少量含む。土釜は10個体程度あり、口縁端部を内側に折り込んだ形態のものがほとんどである。鏝がとくに短いものと、幅・厚みともに小さい鏝が肩部下方に貼り付くものの2種がある。瓦器椀と土釜の年代観から、SD440出土土器は13世紀後半～14世紀前半に比定できるが、中心は13世紀代のものである。

木製品 SD440から漆器椀1点が出土した。ほぼ完形で口径約14cm、高さ約5cm。内外面とも黒漆塗り、口縁外面2ヶ所と底部内面に朱漆で羽形の紋様を描く。

4 まとめ

本調査は、本薬師寺の僧房域にあたる城殿集落内では初めての発掘調査であり、次の2点の成果が得られた。

1点目は、創建瓦が相当量出土したことである。創建期の遺構は検出できなかったが、近傍での瓦葺建物の存在を想定するには充分であり、これまで不明であった僧房域の様相をうかがう重要な知見と言える。

2点目は13～14世紀の溝を検出したことである。平城遷都後の本薬師寺については、11世紀頃までは『左経記』『七大寺巡礼私記』『中右記』などの史料に記事がみえる。また、金堂以南の既調査区では10世紀頃の灯明皿が出土しており、この時期に寺院として機能していたことがわかる。本調査区からは、平安期の資料は出土しなかったが、SD440・441は僧房推定位置と重複するので、これらの溝が開削される13世紀後半には、少なくとも調査地周辺における創建当初の施設は廃絶していたと考えられる。

SD440・441は、その形態・時期から集落や居館に伴う環濠と考えられる。現在の城殿集落に環濠の痕跡はないが、「北垣内」「中垣内」「東垣内」「南垣内」といった環濠集落との関連をうかがわせる字名が残る(図92、榎考研編『大和国条里復原図』奈良県教委、1980年)。ただし、SD440は、「北垣内」北辺より約16m南方に位置するので、その性格については今後の課題である。

本調査では本薬師寺創建伽藍の広がりや、中世の環濠集落の形成について重要な知見を得ることができた。周辺における今後の調査に期待したい。(富永里菜)

表13 第133-3次調査 出土瓦集計表

軒丸瓦		軒平瓦		その他	
型式	点数	型式	点数	種類	点数
6276Aa	3	6641H	4	鬘斗瓦	23
巴(近世)	1	6646E	1	面戸瓦	8
		三重弧文	1	隅切平瓦	3
		重弧文	2	ヘラ描き	1

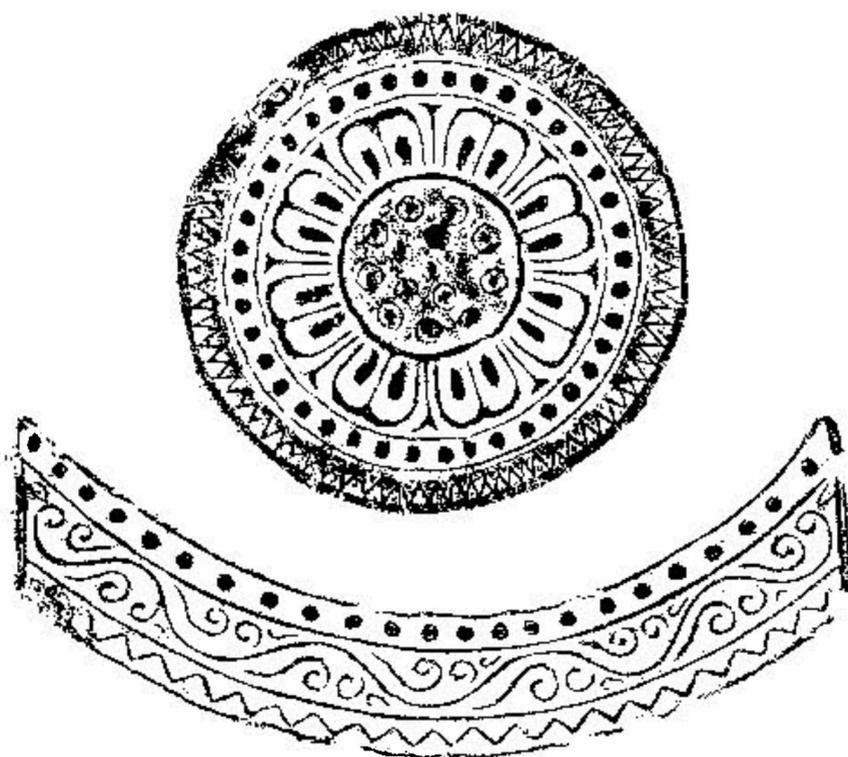


図93 軒丸瓦 6276Aa-軒平瓦 6641H 1:4

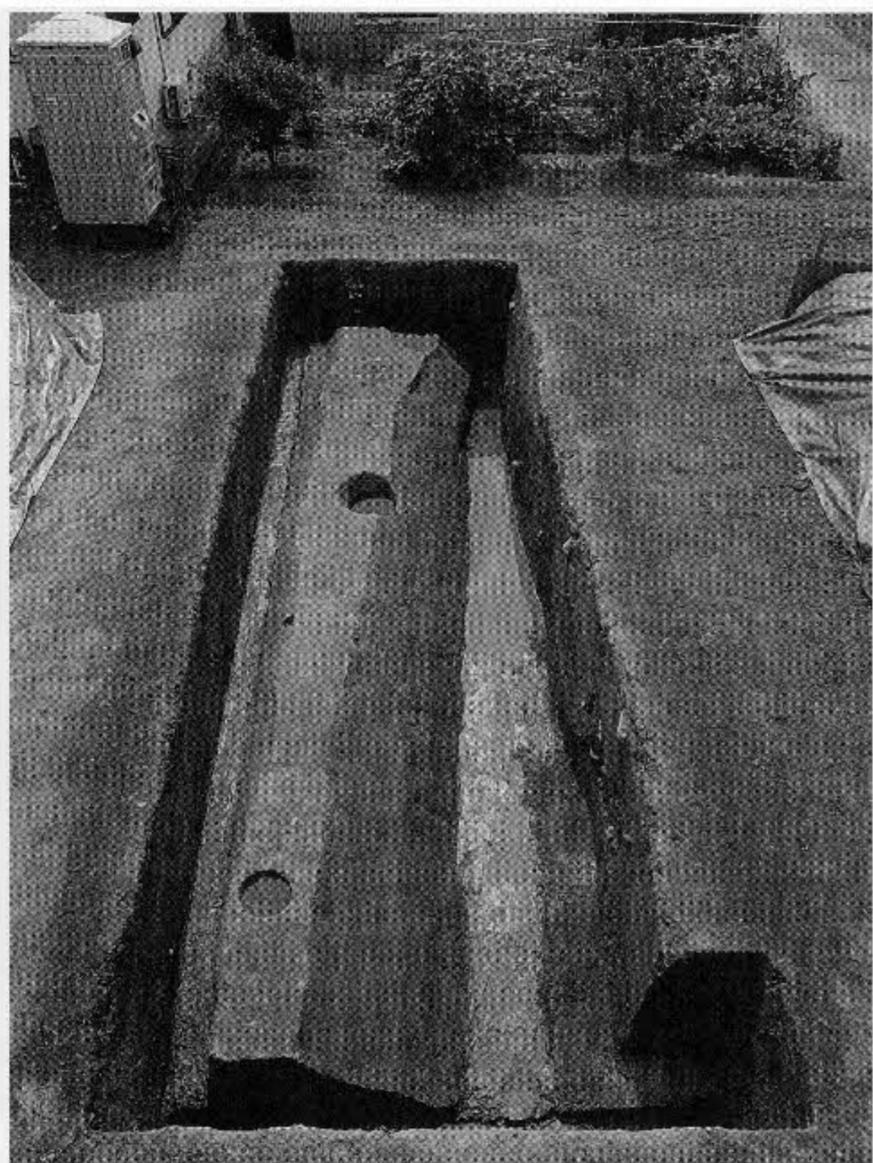


図94 第133-3次調査区全景(東から)